

池田文書の研究 (一)

池田文書研究会

第一九五号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

\*〔岩崎〕

(端裏書き)  
池田 多仲様

伊東長春院

昨日は大暑中名代御勤被下難有奉存候、扱暑中として好物之泥  
船澤山頂戴難有拜味可仕誠ニ大楽ニ罷在候、書外貴顔萬可奉礼  
謝候不悉

季夏初旬

(一) 季夏：陰曆六月のこと。

\*〔〕は判読、翻字作業を行った會員名を示す。

第一九四号文書 伊東玄朴書狀 池田玄仲宛

〔岩崎〕

(端裏書き)  
池田 玄仲様

伊東長春院

成島申来候美濃部洪庵は御旗本家来ニ而出来不申候間、其代  
三十四五歳限り業前出来候者宍人免ニ申上候様と申事ニ御座  
候、其処江須田泰嶺御申上被下候而は如何可有之哉、エキサ  
メン仕候方可然候半は早々呼寄可申候、思召奉伺候、可相成は  
鳥渡御立寄可被下候己上

七月卅日

(一) 美濃部洪庵：医学所鑑定役。文久三年五月に歩兵屯所医師とな

20。

(一) エキサーメン：Examen 試験。

第一九五号文書 伊東玄朴書狀 池田謙斎・池田多仲宛 〔岩崎〕

(端裏書き)  
謙斎様  
多仲様

長春院

出席之人相揃半は御申越可被成直ニ罷出可被申候己上  
廿九日

第一九六号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛 〔岩崎〕

(端裏書き)  
多仲様

長春院

先刻ハ忝奉存候然ハ哲之助今夜之容體甚被案候、私儀夜伽仕度  
候得共実ニ双方之病人ニ而誠ニ大草臥何分気分も尽果明朝は早  
登城如何共致方無之困入候、申上兼候得共今夜之処隣江御一泊  
御看病被下為度偏ニ奉願上候、此段折入而奉願上候以上  
三日夜

(一) 哲之助：伊東玄朴の長男幸三の別名。天保五年生まれ。

第一九八号文書 伊東玄朴書狀 池田玄仲宛 〔岩崎〕

(端裏書き)  
池田 玄仲様

伊東長春院

佩斯達篤坪并著述之書ハ其御役所ニ澤山ニ有之候哉、一篇何程  
敷之御直段ニ御座候哉、承知仕度候否被仰聞可被下候己上

三月四日

(1) 侃斯達篤…: カンスタット Karl Friedrich Canstatt (1807—

五〇〇)。

(二) 坪井…: 坪井信良。この書物は『侃斯達篤内科書』(元治元年刊)。

以上

三月十七日

尚々九時御出之義御承知之否丈一寸被仰聞可被下候

第一九九号文書

伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔岩崎〕

(端裏書き)  
池田 多仲様

伊東長春院

モスト麻疹篇此間出来候分校合清書相願度候、何卒御働可被下候、今日遠藤侯江御見舞可申候、平太様<sup>カ</sup>疹ニ御座候、右京亮様へも御都合急度御座候ハ、御立寄可申候此節御姫様方不残<sup>カ</sup>疹ニ御座候此段相願候以上

六月廿五日

第一二七九号文書

伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

(端裏書き)  
多仲様

冲斎

昨夜ハ御苦勞、拙老事昨夜<sup>カ</sup>真ノコレラニ相成ラウダ三十滴頓服申も止り不申候、今朝ハ御見舞相願候、以上

五月念六

(一) ラウダ:Laudanum の省略形。ア(ン)チンキのこと。止痢作用がある。

第一二八〇号文書

伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

(端裏書き)  
多仲様

冲斎

ママ(裏書キ朱筆注) 麻一冒感諸症ヲ兼発スル熱性疹ニシテ多クハ是小兒ノ患ル病ナリ 其流行スルニ方リテハ、一地方ノ人ノ未タ之ヲ病マサル者ハ悉ク感染シテ殆ント一人モ遺ル事無シ 然レトモ一回此疹ニ罹ル者ハ其契合ノ感受性熄滅シテ再ヒ之ニ染ム者ナシ

一兩日は日夜御待申上候処無其儀御不快ニハ無之候哉、鳥渡御尋申上候、御多用ニも可有之御座候得共、御不快ニ無御座候半は鳥渡御光来相願候、草々不備

七月十一日

(1) カント: Georg Friedrich Most (1794—1831)。

第二〇〇号文書

伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔岩崎〕

(端裏書き)  
池田 多仲様

伊東長春院

昨日は難有奉存候、尚又今日も乍御苦勞御出被下度奉願候、昼飯差上度候間九時前<sup>カ</sup>御出可申候、右御禮申上度如此ニ御座候

第一二八一号文書

伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

(端裏書き)  
池田多仲賢契

冲斎

日下御病人一診仕候処、疫症ニ肺患ヲ兼候症と奉存候、胸痛も有之候由、ソイゲル三五頭宛も貼し候、<sup>カ</sup>パッ<sup>カ</sup>プ<sup>カ</sup>ヲ貼し候、煎薬

もアルター少々加入可然候、下利マタも有之、折々ハ吐氣も有之候  
(一)故ガル杯之処為も可有之候、サレ(二)レップ劑イベカコ、ゴム(三)、ソ  
(四)イケル散葉可然候、咳之摸様(七)、エールステウエーゲン(八)之メーデ  
(五)レイヂングも可有之哉ニ奉存候、下利ハ第一之嫌物ニ御座候、  
(六)ガルは殊之外沸騰仕居候事と相見申候、嘔氣も有之候間アルタ  
(七)一杯ハ如何可有之哉御試用之上可然御取捨可被成候、コールツ  
(八)ユトフ中ニ分離ニ未相成不申候、此段申置度、草々頓首

九月廿六日

- (一) バツン…Papp 湿布
- (二) ガル…Gal 胆汁
- (三) サレップ…Salep ラン科植物の球根を乾燥した薬物。
- (四) イベカコ…Ipecac 吐根
- (五) ゴム…Gom ゴム
- (六) ソイケル…Suiker 砂糖
- (七) エルステウエーゲン…erst wegen
- (八) メーデレイヂング…Medelijden 同情。

第一二八二号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

(端裏書き)  
池田多仲賢契

月迫仕候処、愈御多祥奉賀候、甚乍鹿八丈縞一反金千疋歳末之  
 印迄ニ入御覽候、御祝納可被下候、書外萬来陽貴顔可申述候、  
 不已

極月晦日

[遠藤]

冲齋

第一二八三号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

(端裏書き)  
池田 賢契

拙老事未兎角全快至兼候得共、野々山公ニ余リ御無沙汰ニ相成  
 候間、今日は押而も罷出候間、午後貴兄御都合宜敷節拙宅ニ  
 御立寄可被下候、御同伴可申候、此段得貴意度勿々不已

八月念四

第一二八四号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

(端裏書き)  
池田 玄仲様

永田ハ呼出しニも及申間敷候と被存候、尚御考可被下候、己上

六月廿五日

- (一) 永田：永田宗見か。医学所種痘役。緒方洪庵の『適々斎塾姓名録』にある永田見藏は宗見のことであらう。

第一二八五号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

(端裏書き)  
多仲様

今日一寸御出可被下候、三田之御出も御座候半は今一応掛御目  
 度候、此段相願度候、以上

卯月八日

[遠藤]

冲齋

第二二八号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

第二二八号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

(端裏書き)  
多仲 賢契

冲齋

(端裏書き)  
多仲 賢契

冲齋

小田町弁松と申弁当屋松五郎と申者有之、老入前弁当老奴五分

来九日は誰之出席日ニ候哉、拙翁出日ニ候ハ、何レ之処方と申  
事早々御申越ニ被成候、以上  
五月七日

ニ而握リ飯付参候由、是ハ至而評判宜シク有之候間、是へ御申  
付被成、老奴五分と申品ヲ貳匁位ニ申付四十人前笹折ニ致シ遣  
呉候様今日御申付可被成下候、小田原町ニ而弁松と御尋被成候  
得ハ直ニ分リ申候趣ニ御座候、今日貴公様御直々御出御頼可申  
候、只今大槻君と相談仕候、

第二二八九号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

毛氈貳枚、鉢老ツ  
火鉢貳ツ、

(一) ヲベラチー手術。  
今日は宅ニ而ヲベラチー仕候、早昼を給へ取掛リ候積ニ御座候  
間其思召ニ而御出張可被下候、見物人ハ一切御断申上候、人多侯  
而ハ誠ニ困入候間此段も御含可被下候、此段申述度、早々頓首  
六月廿九日

右之通差上申候、燭台ハ不用也、花池も御無用、餘り花美成ル  
事ハ御無用、右申入度早々以上

五月六日

(一) 小田町：小田原町の誤り。

(二) 大槻君：大槻俊斉。

第二二八七号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

遠藤

第二二九〇号文書 伊東玄朴書狀 池田多仲宛

〔遠藤〕

(端裏書き)  
池田 玄仲様

冲齋

急ギ

周防守殿今日御見舞相願度候間只今一寸御出可被下候、以上

五月十一日

御隠居様御容体拝診仕候処、何分精神恍惚全クイーリング而已  
ニ御座候、(一)ポルスは至而フアルニ相成申候、(二)スラープ更ニ無之  
御様子、今夜ハラウダ十二三滴も頓服ニ差上度候、尚御見舞之  
上御撰扱も可被成候、已上  
四月四日

四月四日

- (一) ポルス…Pols 脈拍。
- (二) フョル…vol 充実した。
- (三) スラープ…Slap 睡睡。
- (四) ラウダ…Laudannum の省略形。アムンチンキ。